

あきる野市

平成19年(2007)8月31日

第11号

# 町・自連会報

発行/平成19年8月31日 発行者/平野通雄 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会



**五月十三日(日) 第12回あきる野市民スポーツ・レクリエーション大会** 新緑の秋留台公園で開催。69団体、72町内会・自治会が参加。実行委員会会長平野通雄から「スポーツを通して健康な市の礎となるようコミュニケーションを図っていたきたい」との挨拶があり、昨年を超える二四、〇〇人の市民が集い町内会・自治会対抗三種目に熱戦が展開されました。

**七月二十三日(月) 花壇コンクール審査会** (あきる野市花いっぱい運動推進協議会会長平野通雄) が53団体中17町内会・自治会19花壇が参加して実施しました。  
結果は、次のとおりでした。  
最優秀花壇小和田(自)、優秀花壇秋川ハイツ(自)、戸倉東部(自)下宿、優良花壇小中野(自)、油平(自)、湖上(町)、小川東(町)、平沢(町)、戸倉東部(自)上宿、二宮(自)宮園地(自)

**七月二十六日(木) 新潟県中越沖地震被災地へ義援金を送る**  
あきる野市町内会・自治会連合会では、去る七月十六日新潟県中越沖を震源とする地震が発生し、大きな被害が起きました。災害は、いつ、どこで起きるかかわからず、決して他人ごとではありません。役員会で協議の結果、連合会として義援金を送ることにしました。一団体五、〇〇〇円。合計八〇団体四〇万円の浄財を朝日新聞社を介して送りました。ご協力に感謝し、ご報告します。



## 平成十九年度あきる野市町内会・自治会連合会定期総会

平成十九年度あきる野市町内会・自治会連合会定期総会が、去る四月二十日(金)、あきる野ルピア ルピアホールに、市長・議会議員・教育長・市総務部長・社協会長ご臨席のもと、平成十九年度定期総会を開催しました。

平野連合会長から、「あきる野市及びその他各種公共団体への協力と地域住民代表の自治体として、町内会・自治会の総合的課題等を図っていく

きたい。また学童の登下校の見守り等安全・安心の街づくりを構築していきたい」との挨拶があり、議長に上引田町内会長影山三氏、副議長に小川東町内会長田中正義氏を選出、議事に入り、平成十八年度事業経過報告、会計決算報告が審議、承認され、十九年度活動方針(案)、会計予算(案)が提案され審議、承認され、十九年度がスタートしました。

## 自治会紹介 軍道自治会

①りん多く、  
②んどのオゾンの中で、住人が  
③どじーお一杯にして、  
④きこぎの自治会を目指す。  
我が軍道自治会は、秩父多摩甲斐国立公園入口で、光明山の麓に点在する集落で、過疎化、少子化、高齢化のモデルのような小さな自治会です。遠くの親戚より近くの他人をモットーに、地区全体で声かけ合い話しあえる仲間意識を強めた地区を目指しています。昔から、自治会員の多くが高明神社の氏子で、更に明光院の檀信徒であり、夫々の催事がほとんど同じメンバーの構成で元気づけられています。従って三団体の催事が重ならないようその都度気配りしあっていて、うまくいっている。年間を通してみると、自治会関係では、総会、市スポレク、春秋の市一斉清掃、年三回の資源集団回収、納涼会、敬老会、散策の



会、マス釣交流会、関東富士見百景の馬頭刈山ハイイク、防災訓練への参加、別にふれあいサロン(本年は瀬音の湯での体験交流会)、毎月実施の若がえろう会、隔週のヨガ風ストレッチの会と参加者も多い。他に明社や自然を昔に戻す会などの人足なども協力者が多い。次に神社関係では、春秋の祭礼、水無月祓、新嘗祭、元旦祭、山の神、愛宕祭、嵐除祭など、またお寺関係では、お施餓鬼会、毎週実施の座禅の会とそれぞれの行事等

に楽しみの中、皆元気に参加されている現状である。高齢化顕著の中、出来る限り自力で日常生活できるように地域全体で気遣っていき、「軍道が終の栖」となれるよ

う、また安全・安心、楽しい希望もてる、住んでよかつたといわれる軍道をめざしていきたい。  
(軍道自治会長 岡部準一郎)

### あきる野市町内会・自治会連合会役員会協議事項

- 平成十九年**
- 四月十三日
    - 十九年度総会資料について
    - 十九年度総会役割分担について
    - スポレク前日整備について
    - 十九年度事業計画について
    - 市からの連絡事項
      - 一、社協の事業について
      - 二、めざせ健康あきる野21
      - 三、あきる野夏まつりについて
      - 四、社会を明るくする運動について
      - 五、春季一斉清掃について
      - 六、各地区からの報告
      - 七、部会報告
      - 八、七月十日全体会について
      - 九、東京都補助制度「地域の底力再生事業助成」について
      - 十、市からの連絡報告事項
        - 一、災害時対応について
        - 二、社協からのお知らせ
  - 七月十日(全体会)
    - 十九年度活動計画について
    - 十九年度一泊研修について
    - 部会報告
      - 一、市からの連絡事項
      - 二、在宅介護支援センターの活動について
      - 三、敬老行事推進について
      - 四、災害時対応マニュアル検討と国民保護計画について
      - 五、地域の底力再生事業助成について
      - 六、善行青少年の推薦について
      - 七、七月二十日(緊急役員会)
        - 一、敬老行事推進事業について
        - 二、中越沖地震義援金について(書記 清水勝雄)

## 編集後記

会報11号をお届けします。今回は、10号の地域の見どころに続いて「祭り」をとりあげました。9月は昔から農業にまつわる二一〇日の嵐除け、五穀豊穡を願う祭りが多く、町内会・自治会の底力が発揮されます。  
本年も半分余が過りましたが、台風4号による水害、時を同じくして新潟県中越沖地震による被害。この地震では高齢者が犠牲になりました。先日あきる野市を震源とする地震もありました。何時、何処で発生するか予想できません。人が被害に遭わないよう災害に対する心構を念頭におかなければなりません。本年も各地区で敬老行事が催されます。難しいこともありますが、高齢者を敬い、長い間社会に貢献されたことに感謝したいと思います。  
高齢者が犠牲になった新潟県中越沖地震を思うと特別な感じがします。  
(会報部会長 土士田一男)

先頭は鉦を持った少年四名。鉦は神宝の一つで、巡行道路を先行して沿道の御祓いを司る。熱気みなぎる勇ましい十三基の子供神輿・大人神輿が観衆を圧倒する。続く、白丁をまとった五十名からなる獅子頭一行は、雌雄二頭の獅子頭を頭上に掲げて互いに競い合わせ、木遣を歌いながら歩を進める。迫力ある大太鼓の後には神社神輿である。頂部が八咫鳥で飾られているのが特徴で、白丁をまとった担衆三十四名の「ヨーイ、ヨーイ」の掛け声も力強い。宮司、神官、挟み箱、総代、祭典委員と続き、最後尾は五台の山車。囃子の旋律が安らぎと郷愁を誘う。まさに大名行列が街道へ繰り出す時代絵巻のようだ。

いよいよクライマックスは神輿の宮入。提燈灯る夕暮れの中、神社通りに入った神輿の一行は、宮入させようとすする役員衆、それを拒む祭衆の迫合いで激しさを増す。この間三十分。めでたく全基が宮入すると、神社神輿の御神体が神社に返納され、全員の手



込んだ若者達が、朝早くから宮司の到着を待ち、拝殿が開かれると、神輿の飾り付け、山車の飾り付け等、各役割、各種団体等、これから始まる例大祭準備に余念がありません。午後四時を廻ると、いよいよ宵宮の始まりです。太鼓の先導で、綺麗に飾り付けた、山車が町内を巡行、お祭りを盛り上げます。夕闇迫るころには、山車の各提灯に明かりが灯り一層華やかになり、午後七時頃には町内巡行を終えた山車が神社に戻ります。その頃、境内舞台では、有志の方々による芸能の披露があり、夜遅くまでお祭りに浸っています。

八一六年、喜多川歌麿・杉田玄白の頃)小伝馬町三浦屋清吉作、台輪三尺四寸の神輿です。白丁が、本殿御白洲より、右横の門から境内の神輿座所へ運び出し、担ぎ棒を取り付け後、氏子二宮神輿会に引き継がれ、境内を練った後、参道階段を下り、町内渡御が始まります。町内渡御途中、宮司宅で御飯屋の儀式があります。その昔、二宮神社の神様が一夜の宿を借りた言い伝えが残り、二宮町内の渡御を終えた神輿は、神社鳥居前に到着しクライマックスを迎えます。参道を埋め尽くした、見物の

方々と一緒に声を掛け合い参道の階段を上って境内を練った後、神社へ還御します。また、境内では、芸能会による芸能披露、東京で唯一の農村歌舞伎「秋川歌舞伎」も公演されます。是非しょうが祭りに遊びに来て見ませんか。(二宮町内会長 小澤英夫)

八一六年、喜多川歌麿・杉田玄白の頃)小伝馬町三浦屋清吉作、台輪三尺四寸の神輿です。白丁が、本殿御白洲より、右横の門から境内の神輿座所へ運び出し、担ぎ棒を取り付け後、氏子二宮神輿会に引き継がれ、境内を練った後、参道階段を下り、町内渡御が始まります。町内渡御途中、宮司宅で御飯屋の儀式があります。その昔、二宮神社の神様が一夜の宿を借りた言い伝えが残り、二宮町内の渡御を終えた神輿は、神社鳥居前に到着しクライマックスを迎えます。参道を埋め尽くした、見物の

方々と一緒に声を掛け合い参道の階段を上って境内を練った後、神社へ還御します。また、境内では、芸能会による芸能披露、東京で唯一の農村歌舞伎「秋川歌舞伎」も公演されます。是非しょうが祭りに遊びに来て見ませんか。(二宮町内会長 小澤英夫)

方々と一緒に声を掛け合い参道の階段を上って境内を練った後、神社へ還御します。また、境内では、芸能会による芸能披露、東京で唯一の農村歌舞伎「秋川歌舞伎」も公演されます。是非しょうが祭りに遊びに来て見ませんか。(二宮町内会長 小澤英夫)



今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

「五日市のお祭りが終ると寒くなってくるわ」これが合言葉のようになっていきます。(元会報部会員 田中誠一)

# 地域の風とこころ

## 二宮の祭礼 (しょうが祭り)

二宮町内の最大の行事、二宮神社秋季例大祭(しょうが祭り)は、九月八日(宵宮)九日(例大祭)両日に行われます。しょうが祭りの由来は、通常の海の物・山の物と、里芋・牛の舌・生姜を神饌として奉納する慣わしが残っています。昔、この地に、厄病が流行った時、神饌の生姜を頂いて食べた所たちどころに良くなったことからしょうが祭りとして、今なお続いていきます。

八月下旬には、二宮神社氏子会を中心に、二宮町内の多数の方が参加し、境内にて、舞台造り・旗建てが行われ、これが終了すると、お祭りムードが一気に盛り上がりつつ来ます。夏休みが終わると、祭り囃子の練習の音が二宮の町中に響き渡り、各家庭でも、お祭りの準備に取り掛かります。



今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

八日(例大祭)両日に行われます。しょうが祭りの由来は、通常の海の物・山の物と、里芋・牛の舌・生姜を神饌として奉納する慣わしが残っています。昔、この地に、厄病が流行った時、神饌の生姜を頂いて食べた所たちどころに良くなったことからしょうが祭りとして、今なお続いていきます。

八月下旬には、二宮神社氏子会を中心に、二宮町内の多数の方が参加し、境内にて、舞台造り・旗建てが行われ、これが終了すると、お祭りムードが一気に盛り上がりつつ来ます。夏休みが終わると、祭り囃子の練習の音が二宮の町中に響き渡り、各家庭でも、お祭りの準備に取り掛かります。

今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

今年も九月十五・十六日の両日にわたり、「正一位岩走神社例大祭」が開催される。平安末期、信州伊那谷の石工達が移り住んで開いたとされ、社号の岩走は、秋川の激しい流れの様子から名付けられたという。寛政六年(一七九四)、正一位の位を賜ってから二〇〇年以上の歴史を刻み、その重みを神社に奉納された多くの品が語る。伝統を継ぐ伊奈の祭典は、七自治会と隣接する一自治会により執り行われ、参加世帯数は一五〇〇以上にものぼる。見所は三箇所。まずは午後零

## 二宮の祭礼(しょうが祭り)(九月八日・九日) 渡御行列で賑わう伊奈の祭典(九月十五日・六日) 五日市のお祭り(九月二十八日・三十日)

先頭は鉦を持った少年四名。鉦は神宝の一つで、巡行道路を先行して沿道の御祓いを司る。熱気みなぎる勇ましい十三基の子供神輿・大人神輿が観衆を圧倒する。続く、白丁をまとった五十名からなる獅子頭一行は、雌雄二頭の獅子頭を頭上に掲げて互いに競い合わせ、木遣を歌いながら歩を進める。迫力ある大太鼓の後には神社神輿である。頂部が八咫鳥で飾られているのが特徴で、白丁をまとった担衆三十四名の「ヨーイ、ヨーイ」の掛け声も力強い。宮司、神官、挟み箱、総代、祭典委員と続き、最後尾は五台の山車。囃子の旋律が安らぎと郷愁を誘う。まさに大名行列が街道へ繰り出す時代絵巻のようだ。

先頭は鉦を持った少年四名。鉦は神宝の一つで、巡行道路を先行して沿道の御祓いを司る。熱気みなぎる勇ましい十三基の子供神輿・大人神輿が観衆を圧倒する。続く、白丁をまとった五十名からなる獅子頭一行は、雌雄二頭の獅子頭を頭上に掲げて互いに競い合わせ、木遣を歌いながら歩を進める。迫力ある大太鼓の後には神社神輿である。頂部が八咫鳥で飾られているのが特徴で、白丁をまとった担衆三十四名の「ヨーイ、ヨーイ」の掛け声も力強い。宮司、神官、挟み箱、総代、祭典委員と続き、最後尾は五台の山車。囃子の旋律が安らぎと郷愁を誘う。まさに大名行列が街道へ繰り出す時代絵巻のようだ。

「五日市のお祭りが終ると寒くなってくるわ」これが合言葉のようになっていきます。(元会報部会員 田中誠一)